

次第で能らう運びて何くし塊い
考にとばす番しが思たをや
で芝庭に出腦るいまにうの多だ
あにくる秉性にけうつこで少か
る承認のなづ少はのけどもあらね
てめでかにしいがてははるもね
実るあつ者でこ脳悪祉う良
行とつた各もとと性く会
どこて争自普とマ思セどし
れろ もが通云う國かたと
んで廻あ努力者よにくい可
事あ保る力に上じう村相と愛
をる各種す近うヒリ弄注い
望が位處かず。フハて意我
もらす可ひこてフモ恩をが

編集後記

役員の反対、慎重論を押し切つて毎月発行の計画に突入した。郵送費の問題、印刷費の問題等困難なことばかり、果してこの一年間無事に発行出来たかどうか、その辺だけが当分の問題の中は一杯である。印刷屋さんの急病の為本号にかぎり謄写印刷にした。当方の手落ちもあり誠に申しわけなく深くおわびしたい。

なお次号第十五号の原稿は一月未
田までに事務所へお送り下さるよ
う。

三

東京都大田区零ヶ谷七五二

青　　山　　艺　　术　　会

大田区池上櫻町二九三
原田宣治先生

千葉県支部近く発足

過年児のため

塾をやつていて、いつも看えさせられるのは過年児、年令の関係で学校に入れてもらえない子どもたちのことである。即ち、小学校の一年生に入る位の体力はありながら、才覚或いはそれ以上の年令であるために、例えば、二ヶ年までしか超過はみとめられない、というような制限にひつかかって一年生に入れない、というような子どもたちのことである。そして、その子どもたちは、かつて肢体不自由児のための養護学校の入学困難がひとかぎり、何らかの理由で入学出来なかつた子どものである。

（――）聞くところによると、最近は、その養護学校に入る者は、大部分になつてきただろうだけ、又この春からは、江戸川の方に新設の学校が出来るといつ。そこで、どうひつともうかるのである。

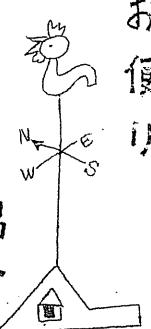
関係方面の御配慮を功に望むべくもなつ。それとともに、業務教員と修了せること無理だとすれば、小学校六年程度でも、或は三年程度でも、否最短限学校に行つたといつたけでもいい。学校を行つたといつだけでも、その子の生運に与えられたものじかに大きいつとが、逆に云ふと、学校に行かなかつたといつとが、他の子どもたちの一生にどれほどの影響を及ぼしたかしれぬ。そこで、今のままでには、生涯教育の場を与えられないと終つてしまつ子どもが、少くないものである。考えてみれば、惨めであるし、又怖じつてゐる。

\widehat{K}

(山北記)

4)

お便り



紹介

早や一月も経のつとしております。
新年の御辭を手ににたしまして御無念をし

湯タンボがあり、子供達の活動も熱く、健て労力を貢献する事が多いので非常に疲れます。ですから睡眠は何よりの療養です。不思議なほどよく眠ります。

早く暖かい春が来るといいですね。子供達が自由に戸外で遊ぶ事が待たれます。

子供達の体が、氷が解けるように動きはじめるましらその子一人一人が持っている悪い町を本人がはっきりと自分の心に知つて、それを普通の状態に戻すとうと云う意識と努力を磨かねばならないと思つています。同じ注意を向かべんり返されても、その本人が為に必要な事なら、それが何千へんになつてもこの人は感謝して聞かなくてけならないのです。いかと、今、私の音をふり返つて、母の注釈が身にしみて来ます。自分の現在のありさまを自分自身知つてこれがどうあるべきものか三歳に考えて必要があるのです。宿でまと一緒に一生懶惰生きてる努力を怠けて参りましょう。一人一人が小さく莘々としている

立春の際となりましたな、皆様は如何お慶
しでしつか。まだお寒さが厳しいのでお体
をお大切にして下さい。
十四号の会報にミスがありました事をお詫
びします。シクリー・ーション部の将棋、碁
のリーグ戦は印刷の間違いで本曜日を毎週日
曜日午後一時～四時までに訂正しますので、
御承知下さい。
ほのかの事も予定であって確定ではありませ
ん。確定した度にお知らせ致します。
印刷は幸い面倒な複数の長文を扱うので、Y
MCの会員であらわる方々の御世話でYMCの
皆様が専門家としてやって下さる様になりました。しかし御多忙な方を十五日で発行出
来ませんがもわかりませぬ。その事は御理解
下さい。
原稿をお寄せ下さい。さうしてには原稿用紙に御
願い致します。
なお、次回の第十六号の原稿は二月末迄に
お送り下さい。 (中村敬一)

私も早サの時に朝の六時には起き出ます。道を歩き町のう手とオーバーのボケットにつつこみ、八畠米の言葉で「オオ サムカッ！」と思わず口から出ます。自分がだじまるような悪ことにやれに対抗し乍ら「ガンバレ ガンバレ」と自分を励まし励まし空っぽのバスに乗って子供達の顔を思い浮か

一月二十五日

卷之三

編集後記

卷之三

東京品川区五反田二三一四
創文社

著者　大田昌義、井上義之
編集責任者　鶴見義典
出版社　東京書店
創刊号　文部省認可第1号
元年　明治49年
元英

役員会だより

二つの署名運動に御協力を!!

その趣向は、繩墨の時にや頃からあ

によつて一般田園物の第五種郵便が大幅に上昇(現在一〇〇グラム毎ハ円のが五〇グラム毎十円になる)されるに除して、また、それく身障者団体の機関誌類が福祉的なものであるのに第三種郵便(現在一〇〇グラム毎四円)に認可しないで、明らかに宣伝目的とし万大会社のパンフレット類を審査に認可しているのは、不合理であるといふ見地から、他の身障者団体と共に而わわれらの機関誌類を第三種郵便に認可せしめることの署名運動をすることになつたので、著名用紙として同封配布いたします。
余報の郵送代が安くなれば、それだけ

その趣図は、選舉の際に投票所まで行かれない人たの方のための、家で投票ができる制度がないからです。廃止になつたので、それを復活させようとす るものなのです。

このことは特に重慶開埠者にとっては重大なことですので、本会でもそれには努力するこ とにしたのです。ですから郵便料金の方の署名と同時に、この方の署名もとって頂きましたく 思います。

最後にもう一度、会員の皆さんはしっかりと して開業者の皆様に、この二つの署名運動を対して多大のご贊同並ひお力をお願いし いたします。

（会帳との詰合の件）
一、便せ部 会計關係

専用主との懇談会り件 （部有地の借用）

来年度予算本部宗の件など （子の也）

親のママ長か山北から高山さんへ渡った。
当曰富士アロタクシヨン六万三人が出席され
脳性マヒ者の東京の姿は明國にじだりとの詰
あつた。

なお、次回三月の役員会は予算審議といふ
重要な議題かひかえております。
各部長はそれ部の予算案を提出するこ
とになつてゐる。

三田の役員会は都合により第三日旺日十九
日に行つ。

附
一、鷺森田舎はなるべく四月十四日までに在
事務所へお送り下さり。

七八
厚日行う

12. 「在宅投票復活手帳」の署名用紙を同封しますが、これは、日本郵便開拓者友愛会が

